

令和元年
(2019年)
8月15日
No.138

ふくおか 市議会だより

目 次

- ◆定例会のあらましなど…1面
- ◆一般質問…2面 ◆特別委員会の設置など…4面



令和元年第3回福岡市議会 (6月定例会)

6/13
▼
6/24

- 福岡市宿泊税条例案を可決
- 宿泊税導入への対応経費を含む補正予算案を可決

令和元年第3回福岡市議会(6月定例会)が6月13日から6月24日まで開かれました。この定例会では、市長から提出された議案36件が審議され、全て原案通り可決・承認・同意されました。また、「信頼される政府統計を目指して更なる統計改革を求める意見書案」など議員提出議案8件も可決され、交通対策特別委員会、都市問題等調査特別委員会および少子・高齢化対策特別委員会が設置されました。(4面に関連記事)

主な議案の内容は次の通りです。

●宿泊税導入への対応のための一般会計補正予算 (議案第3号)

補正の総額は、2億1743万2千円(増額)です。補正の内容は、宿泊税導入への対応として、税務システム改修や関係者への周知等に係る経費の増額などです。

〈賛成多数〉

伴い、手数料、乗車料金等の額を改めるものです。

〈賛成多数〉

●はしご付消防ポンプ自動車・救助工作車・水槽付消防ポンプ自動車の取得 (議案第26号～第28号)

中高層ビルの火災等に対する警防体制の強化ならびに火災およびその他の災害に対する救助体制の強化を図るために、はしご付消防ポンプ自動車・救助工作車・水槽付消防ポンプ自動車を取得するものです。

〈全員賛成〉

定例会のあらまし

検索

●福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例・福岡市営渡船条例・福岡市高速鉄道乗車料金等条例・福岡市科学館条例の一部改正

(議案第8号・第10号・第13号・第15号)

消費税法および地方税法の一部改正に

右の議案のうち、議案第3号・第6号・第8号・第10号・第13号・第15号に対して日本共産党福岡市議団および緑と市民ネットワークの会から、議案第10号に対して無所属議員1人からそれぞれ反対討論が行われました。

定例会の日程

6/13	本会議	●議案(提案理由説明・質疑・常任委員会付託)
6/14・17・18	本会議	●一般質問
6/20・21	常任委員会	●議案審査等
6/24	本会議	●議案(常任委員会委員長報告・討論・採決) ●意見書案・決議案の採決

一
般
質
問

6月14日、17日、18日の3日間にわたり一般質問が行われました。一般質問とは市政全般について市当局の考え方などを聞くもので、23人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。

会派名は略称です。(正式名称は欄外参照)

都市問題としてのカラス対策の取り組みを

市民ク

問 カラスによる街中での生活被害がこれから深刻になつてくるのではないかと危惧している。まずは、被害の実態を調査・把握し、被害を生じさせないための抜本的な対策を練るといった具体的な取り組みが必要と考えるが所を見を問う。

答 現在、国が作成した自治体向け対策マニュアルなどを活用して、関係局・区において市民相談への対応などを行っている。今後、被害の実態も把握しつつ、国や他都市における事例などを参考しながら、生活被害等を未然に防ぐ取り組みも含め検討していく。

問 空港南側周辺の土地の有効活用を

無所属

答 福岡空港南側周辺は、国が税金で買つて所有する移転補償跡地がたくさんあるが、有効活用されていない。市として積極的に一緒にやって知恵を出し、有効活用すべきと考へるが所見を問つ。

答 空港南側の移転補償跡地の活用については、市民のスポーツ・サービスを踏まえるとともに、土地利用上の制約などの課題もあり、地域住民の要望や意見を十分に聞きながら、関係局と連携し、検討していく必要があると考へている。

子どもに対する医療費助成の拡充を

公明

問 中学生は部活動などでけがをすることも多く、受験や進学など教育費が増大する時期である。子育て世帯の経済的負担を軽減させる観点から、まずは本市として中学校3年生までの医療費助成の拡充に取り組んでいただきたいが所見を問う。

答 中学生は部活動などでけがをすることが多い、受験や進学など教育費が増大する時期である。子育て世帯の経済的負担を軽減させる観点から、まずは本市として中学校3年生までの医療費助成の拡充に取り組んでいただきたいが所見を問う。

問 災害時における障がい者支援の取り組みを

緑・ネ



西高宮校区で運行されている買い物支援バス

答 障がい児者にとって、非常時の被害や不安等ができるだけ大きくしないように、自助または共助力を少しでも上げておくことが必要である。大規模災害発生時には、どのような方法で障がい者の避難支援を行うのか。

答 健康寿命や活動寿命を延ばせ、「一人一人が生き生きと幸せに暮らし、活躍できる「希望ある幸齢社会」(幸せに歳を重ねる)を構築することが重要である。認知症の人々が暮らしやすいまちを実現するために今後の対策への所見を問う。

問 高齢化が深刻な市営住宅での買い物支援の取り組みを

公明

問 食料品等の日常の買い物が困難な買い物弱者への支援サービスは今後ますます重要な中でも、高齢化が深刻な市営住宅への支援は喫緊の課題であり、買い物送迎事業や移動販売など、買い物弱者に対する取り組みを問う。

答 西区の福重住宅において移動販売を試行的に実施している。実施に当たっては、入居者の総意に基づくことなどが重要であり、事業者の選定等も管理組合等が主体となって十分な話し合いの上で行つていただきたいと考えている。管理組合等の負担軽減については、支援策の検討を行つていく。

※ユマニチユード®
知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいた認知症のケア法。フランス語で「人間らしさ」を意味する。

問 おたふくかぜの予防接種に公費助成を

自民

問 おたふくかぜの予防接種は、現在は任意接種で、接種費用がかかるため多くの人が受けている。定期接種化について、支援策との関連も踏まえ、今後検討すべき課題と考へている。

※ユマニチユード®

知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいた認知症のケア法。フランス語で「人間らしさ」を意味する。

問 女性の意見を取り入れ生活道路の防犯灯の整備を

令和会

問 防犯灯の設置が進み、市内の道路は以前より随分明るくなってきたと感じるが、働く女性が増加し、「夜道が暗くて怖い」という意見も聞く。女性の意見を十分に取り入れて防犯灯の整備を促進することが必要と考へるが、どのように取り組んでいくのか。

答 本市では、全ての人が安全で快適に利用できる道路の環境整備を進めてきており、防犯灯の整備においても、さまざまに取り入れる工夫をしながら、視点を生かすことが重要である。

答 今後は、女性の視点をこれまで以上に取り入れる工夫をしながら、防犯灯の整備を促進していく。

問 投票区の分割は、投票率の向上のための有効な手法の一つであると考へる。一方で、投票所の適した施設や運営するための人員体制の確保等も必要となるため、これらの課題を踏まえ、地域の意見を十分に聞きながら取り組む。

自民

問 選挙の投票率を向上させるためには身近に投票所があることが重要であり、月隈投票区のように投票区が広いところでは投票所までが遠過ぎて、投票率が低くなる場合もあるのではなく、投票区を分割してできるだけ近い場所に投票所を設置する努力が必要と考へるが所見を問う。

自民

投票率向上のため

自民

時には個別支援計画に基づく要支援者への対応をお願いしている。

答 平成30年度から認知症フレンドリーシティ・プロジェクトを開始し、ユマニチユード®の普及などさまざまな取り組みを進めている。今後とも、認知症の人々が尊厳と希望を持つて認知症とともに生きることができる社会の実現に向けて、しっかりと取り組んでいく。

答 助成対象拡大は、まずは財源確保の観点から県費補助率の格差是正に向け、県との合意書に基づき、今後も粘り強く協議に取り組むとともに、他の子育て支援策との関連も踏まえ、今後検討すべき課題と考えている。

答 たためには身近に投票所があるように投票区が広いところでは投票所までが遠過ぎて、投票率が低くなる場合もあるのではなく、投票区を分割してできるだけ近い場所に投票所を設置する努力が必要と考へるが所見を問う。

対応は、JR九州において判断、実施されるべきと考へているが、こうした対応が効果的かつ円滑に行われるよう、JR九州とは必要な協議・連携を行つていいく。

自民

問 子ども医療費の通院医療費助成対象を

無所属

答 子ども医療費の通院医療費助成対象が拡大されることは、多くの子どもたちが救われ、保護者にとっても子育ての負担が軽減される。子育てに係る経済的負担を軽減するためにも、すぐにでも通院医療費助成対象を

問 JR筑肥線の代行輸送の確保を

共産

答 JR筑肥線および地下鉄線内で事故やトラブルが発生し、運転見合わせとなつた際のJR筑肥線の代行輸送について、市が主体となつて、JR九州に対して代行バスの配置などを要請すべきではないか。また、西鉄などにも協力を要請すべきではないか所見を問う。

答 JR筑肥線内で発生した輸送障害に伴う代行輸送等の

答 投票区の分割は、投票率の向上のための有効な手法の一つであると考へる。一方で、投票所に適した施設や運営するための人員体制の確保等も必要となるため、これらの課題を踏まえ、地域の意見を十分に聞きながら取り組む。

問 選挙の投票率を向上させるためには身近に投票所があることが重要であり、月隈投票区のように投票区が広いところでは投票所までが遠過ぎて、投票率が低くなる場合もあるのではなく、投票区を分割してできるだけ近い場所に投票所を設置する努力が必要と考へるが所見を問う。

自民



特別委員会の設置

特別委員会は、特定のテーマ、課題について調査するために必要に応じて設置される委員会です。令和元年6月24日に次の三つの特別委員会が設置されました。各委員会の構成は下記の通りです。

名称	交通対策特別委員会 定数21人	都市問題等調査特別委員会 定数21人	少子・高齢化対策特別委員会 定数20人
付託事項	・高速鉄道3号線と沿線のまちづくりに関する調査 ・福岡都市圏における公共交通に関する調査 ・都心部(副都心及びウォーターフロント地区を含む)における道路交通の円滑化に関する調査	・福岡空港に関する調査 ・外郭団体のあり方に関する調査 ・広域的行政に関する調査 ・住民自治、地域コミュニティに関する調査 ・地方分権改革の推進に関する調査 ・防災に関する調査 ・再生可能エネルギーに関する調査	・高齢化対策に関する調査 ・少子化対策に関する調査
委員名	○川上 陽平 ○川上 晋平 調 崇史 古川 清文 大原 弥寿男 ○尾花 康広 松野 隆 森 英鷹 おばた 久弥 黒子 秀勇樹 山口 湧人 井上 麻衣 飯盛 利康 福田 まもる 国分 徳彦 藤本 顕憲 ○倉元 達朗 荒木 龍昇 宮浦 寛 近藤 里美 ○池田 良子 大石 修二	○堤田 寛 平畠 雅博 伊藤 嘉人 ○勝山 信吾 新村 まさる 今林ひであき 篠原 達也 富永 計久 南原 茂 山口 剛司 大石 修二 藤野 哲司 松尾 りつ子 はしだ 和義 ○浜崎 太郎 中山 郁美 高山 博光 ついちはら陽子 田中 たかし 川口 浩 ○田中しんすけ 稻員 稔夫 鬼塚 昌宏 津田 信太郎 ○大森 一馬 打越 基安 阿部 真之助 ○川上 多恵 淀川 幸二郎 大坪 真由美 高木 勝利 楠 正信 堀本 わかこ 中島まさひろ 天野 こう 堀内 徹夫 綿貫 英彦 森 あやこ 成瀬 穩美 山田 ゆみこ ○落石 俊則	

注:○は委員長、○は副委員長、委員名は議席番号順です。

意見書

市議会は、国会や関係省庁などへ市民生活に関係のある問題について意見や要望を伝えるため、意見書を提出することができます。本定例会では5件の意見書案が可決されました。全文は市議会ホームページの「会議結果」からご覧いただけます。

- 信頼される政府統計を目指して更なる統計改革を (全員賛成)
- 歩行者の安全対策の充実を (全員賛成)
- 教育予算の拡充を (全員賛成)
- 地方財政の充実・強化を (全員賛成)
- 少人数学級の推進を (賛成多数)



協議会の設置

本市の重要な課題について調査・研究等を行うため、次の三つの協議会（議員で構成）が設置されました。

大都市税財政制度確立推進協議会
(定数20人)

九州大学移転・跡地対策協議会
(定数21人)

文化・スポーツ振興推進協議会
(定数21人)

常任委員会の動き

(5月21日～6月24日)

委員会名	案 件
総務財政委員会 総合計画、国際交流、財政、地域コミュニティ、防災など	「福岡市宿泊税条例案」ほか3件の議案審査
教育こども委員会 子ども育成、教育など	「福岡市科学館条例の一部を改正する条例案」ほか3件の議案審査
経済振興委員会 商工業、観光、文化、農林水産業、港の整備など	「福岡市営渡船条例の一部を改正する条例案」ほか2件の議案審査
福祉都市委員会 社会福祉、保健衛生、住宅、建築、都市計画、公園など	「福岡市介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分について」ほか10件の議案審査
生活環境委員会 環境・ごみ・リサイクル、道路、下水道、河川、消防、水道、地下鉄など	「はしご付消防ポンプ自動車の取得について」ほか9件の議案審査

※常任委員会・特別委員会での審査状況の詳細については、毎月発行の議会月報に掲載しています。議会月報は総合図書館、各区の図書館、情報プラザ（市役所1階）などで閲覧できます。また、市議会ホームページの「会議録」にも掲載しています。（ホームページへの掲載には、約3ヶ月を要します。）

※常任委員会・特別委員会は傍聴することができます。
(人数には限りがあります。)

議員の資産等の報告書を公開

福岡市議会議員の政治倫理に関する条例に基づき、議員が所有する資産等の報告書を公開しています。

◆今回新たに閲覧できる報告書

・資産等報告書
任期開始日(令和元年5月2日)現在所有する資産等

◆閲覧時間

午前8時45分～午後5時30分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

閲覧場所および問い合わせ先

議会事務局調査法制課(市役所議会棟8階)

電話 711-4749 FAX 733-5869

全国市議会議長会表彰

永年にわたり市政の発展に尽くした功績により、全国市議会議長会で次の議員が表彰され、6月13日の本会議において表彰状が伝達されました。

また、市長から感謝状が贈られました。

議員在職20年特別表彰

富永 計久

国分 徳彦

川上 晋平

ひえじま俊和(前議員)

笠 康雄(前議員)

江藤 博美(前議員)

柄木 義博(前議員)

発行:福岡市議会 編集:議会事務局調査法制課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

電話 711-4749 FAX 733-5869
メール chosa.CCS@city.fukuoka.lg.jp

ふくおか市議会だより次号は、11月1日発行予定です。



ホームページ

議会中継

次の議会(定例会)は9月の予定です。日程は市役所・区役所・出張所・地下鉄駅構内のポスター、市議会ホームページやTwitterに掲載します。